



放射線調査の継続から見えてくる現実

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

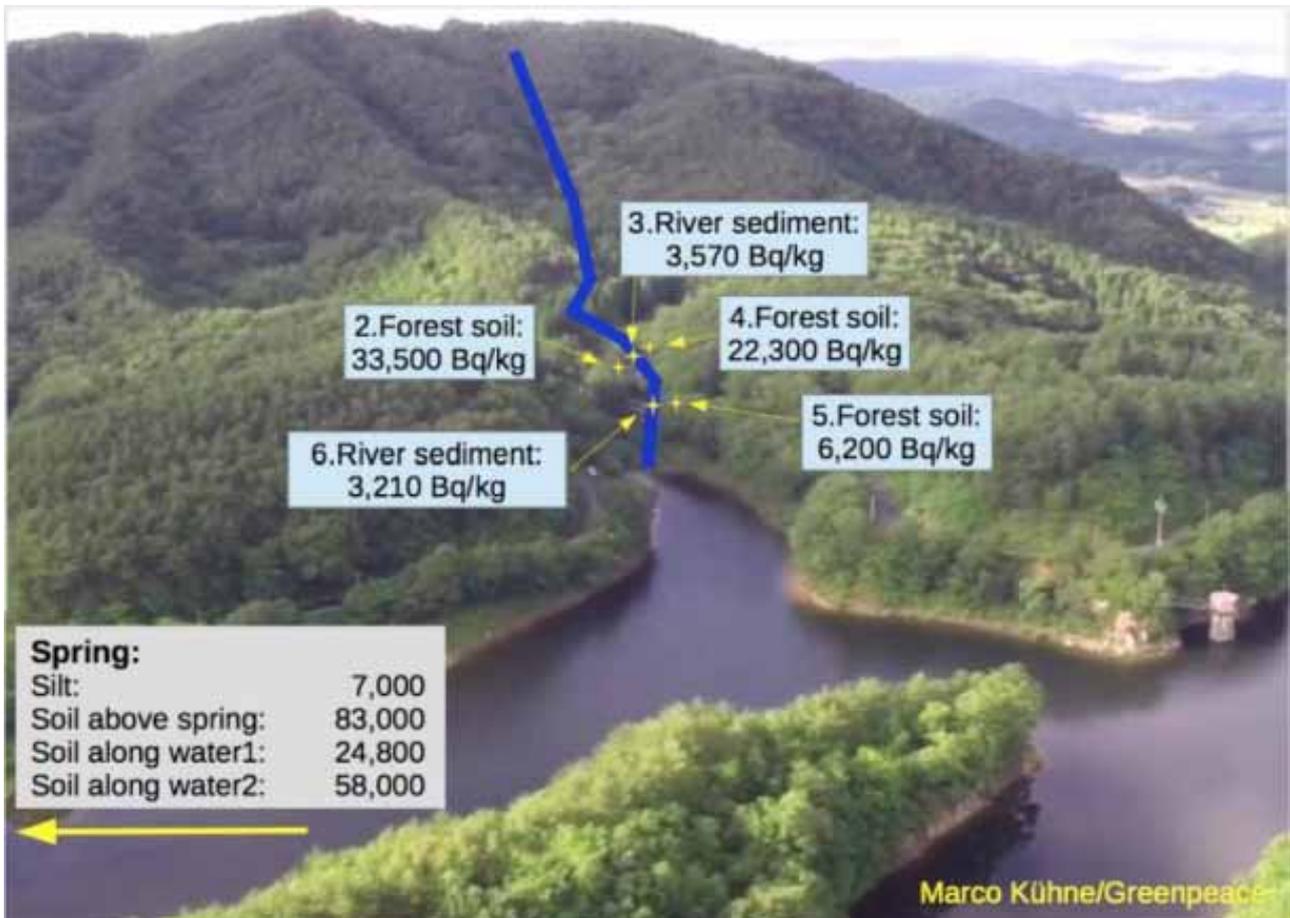
エネルギー担当 関口 守

グリーンピースは、世界 40 以上の国と地域で、地球規模の環境破壊を止めるために活動する国際環境 NGO です。気候変動、エネルギー、森林、海洋生態系、遺伝子組み替え問題や食の安全など、因果関係が国境を越える環境問題を解決するために、世界規模で活動を展開しています。1970 年代にアラスカ沖で行われていたアメリカの核実験に対し、船で直接現地に向かい抗議を行ったことがルーツとなる団体だけに、原子力問題や放射能汚染に対してはとりわけ強い関心と熱意を持っています。

特に福島県における放射能汚染に関しては、東

京電力の福島第一原子力発電所事故が起きた直後の 2011 年 3 月当初から今日に至るまで、海外オフィスからの専門家をリーダーとした放射線調査チームが現地を度々訪れ、福島県内の実態調査を継続してきました。

空間線量、土壌サンプリング、海洋生物、市場に流通する海産物と調査対象は多岐におよび、計 25 回の放射線調査を、福島県を中心に宮城、茨城、千葉などで実施しています。継続的にデータを蓄積することを通して現状を確認することと、状況の推移をモニターしていくことは世界的に見ても非常に重要な調査であると考えています。



ちくりん舎さんとの関わりは2013年の発足以前からになります。サンプルの採取に関しての相談にのっていただくことも多く、またグリーンピース全体として世界各地からの放射線防護アドバイザー（団体内での専門資格）のためのトレーニングを福島県で行った際に、ちくりん舎さんからお話を聞く機会をいただくなど様々な面でご協力をいただいています。検査自体に関しては、2013年に福島県で採取した土壌サンプルの検査を依頼して以来、グリーンピースが国内で採取した土壌サンプリングの全てをちくりん舎さんをお願いしています。

今年の調査では、特に飯舘村を中心に空間線量の調査や土壌のサンプリング調査を行いました。2017年3月に帰還困難区域を除く二区域の避難指示解除の方針が決定されている飯舘村が、本当に安全に帰還できる状態にあるかを調べるのが主な目的です。また同時に、飯舘村での除染の効果や未除染のままに残される予定の広大な山林における汚染の現状や、それが除染済みの場所へどのような影響を及ぼしているかなどを知ることも調査上の大きな関心事項です。

今回、ちくりん舎さんに分析をお願いした土壌サンプルは、主に飯舘村の立ち入り禁止区域に近い除染していない山林から採取したものです。特

に数値の低い2地点はダム湖水際の地面からのもので水位が高い時には水面下に没している地点、それ以外は山林が基本になります。比較的近い場所で採取したデータ同士を比較しても3000ベクレル/kg前後から20,000～30,000ベクレル/kgと大きな差異があることがわかります。小川など水と一緒に放射性物質を含む土壌が移動する場所や、逆に堆積物が動きにくい場所などによって大きな変化があるものの、比較的数値の低い場所のすぐ隣にはホットスポットが点在しています。同地点の空間線量を見ても国際放射線防護の基準から見てかなり高い数値の状態のまま山林が放射能を蓄えている状況が見られます。

更に検査を待っているサンプルの中には個人宅の除染作業後の土壌などもあります。中には除染後も線量のかかなり高い場所のサンプルなどもあり結果が気になります。来年は東京電力の福島第一原発事故発生から5周年になります。このようなデータを更に検証し世界に向けて公表していく準備をしています。今後ともご注目ください。



今秋もちくりん舎の周辺にやって来た冬鳥のジョウビダキ

ちくりん舎 会員募集中

ちくりん舎では会員・賛助会員を募集しています。メールまたは電話、FAXでお問合わせ下さい。

●正会員

団体会員 / 年会費 1口 10,000円 (何口でも)

個人会員 / 年会費 3,000円

ちくりん舎の運営に関わり、ちくりん舎を支えていただく団体、個人です。

●賛助会員

年会費 1口 1,000円 (何口でも)

ちくりん舎の趣旨に賛同して支えていただく方々です。ちくりん舎のニュースレター、イベント案内等の情報が受け取れます。

★カンパも随時受け付けています。

<市民放射能監視センター口座>

●ゆうちょ銀行

振込口座：00150-5-418213

加入者名：市民放射能監視センター

シミンハウシャノウカンシセンター

●他行からの振込の場合

店名 〇一九 (ゼロイチキューウ店)

預金種目：当座

口座番号：0418213

Web サイトにてお待ちしております。

<http://chikurin.org/>

